

## 山本農林水産副大臣のご視察

平成19年6月14日（木）に山本拓農林水産副大臣が、視察のため来所された。（独）農業・食品産業技術総合研究機構（本部、作物研究所、食品総合研究所）、（独）農業生物資源研究所、（独）森林総合研究所等の筑波農林研究団地のご視察の一環として、当所動物衛生高度研究施設を視察されたものである。

随行者は、山口孝農林水産大臣秘書官、伊地知俊一農林水産技術会議事務局研究総務官ほか農林水産技術会議事務局2名であった。

当所対応者は、谷口所長、村上企画管理部長ほか7名で、所長より当所の概要と「高病原性鳥インフルエンザ研究等の概要」の説明、横山プリオン病研究チーム長から「BSE（牛海綿状脳症）等プリオン病研究の概要」の説明が行われ、副大臣より質問を受け説明者から回答を行った。

その後、副大臣は、同施設ロビーにおいてBSE感染牛の脳組織の顕微鏡観察、高病原性鳥インフル

エンザの血清亜型判定法などについてのパネル説明を受け、熱心に質問をされていた。

短時間ではあったが、副大臣におかれては当所研究内容についての知識を深めていただけたと思う。  
（情報広報課）



高病原性鳥インフルエンザ研究の概要説明を受けられる  
山本農林水産副大臣

## 関東知事会の皆様が来所

平成19年5月23日（水）15時、当日つくば市で開催の関東知事会に出席された知事7名を乗せたバスが当所動物衛生高度研究施設に横付けされた。バスから降りてこられた知事の皆様は、農研機構堀江理事長らの出迎えを受けて足早に会議室へ移られた。会議室では、谷口所長がBSEと鳥インフルエンザ研究についての概要説明を行った。

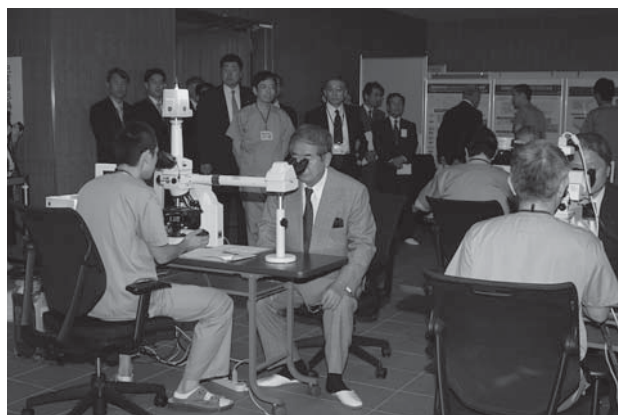
その後、知事の皆様には同施設内のロビーに展示された鳥インフルエンザウイルス亜型判定プレート、BSE発症牛の脳病理組織切片及び、家畜伝染病発生地図表示システムを見て実際の診断や防疫シミュレーションの体験をしていただいた。

その中で、BSE牛の病理組織像を熱心に顕微鏡観察される知事及び、地図表示システムに大変ご興味を示して自らマウスを手にして防疫シミュレーションを体験される知事や、鳥インフルエンザについての説明にじっくり耳を傾ける知事もおられた。時折、知事の皆様から展示した研究内容に関して

様々な質問がなされ、当所の研究員が説明に追われる場面もあった。また、多数の報道関係者も同行しており、盛んにフラッシュを焚いていた。

今回の関東知事会は、橋本茨城県知事がホスト役を務められており、知事の皆様に当研究所職員以上にご説明されているのも印象的であった。

（情報広報課）



BSEの病理標本を観察される石原東京都知事